



「5組の生徒と交流を深めよう！」

昨日の5時間目に学年集会を開きました。集会で清水先生が5組の生徒で、自力で体を支える事が難しく、介助が必要な生徒が勉強をしていることを話してくれました。3年生と同じ2階で、体に障害がある1年生が一生懸命に生活をしていることがわかりました。また、その生徒は、声をかけられることが大好きで多くの人と交流したい気持ちで一杯であることも清水先生の話からわかりました。話しかけられるとうれしくて、相手をたたいて意思表示をすることも知りました。言葉で相手に自分の気持ちを上手に伝えられないので、たたくことでふれ合いを深めようとするようです。

このような情報は重要で、十分に理解していないと交流を深める手段でたたいているとは、とらえないで否定的な目で見えてしまうこともあると思います。そうなる误解されて友達もなかなか作るのが大変なんだろうなと思いました。3年生は、毎日廊下で会うと思います。「おはよう」とか「さようなら」とか声をかけて欲しいと思います。1年生のその生徒は、3年生のお兄さん、お姉さんに声をかけられてとてもうれしいと思います。そして、その生徒があなたをたたいてきたら、「よろしくね」と相手の気持ちを受け止めてあげてください。きっとその生徒はうれしい気持ちで一杯になると思います。

神奈川県は、インクルーシブの高等学校を指定してインクルーシブ教育を推進しています。近隣では、足柄高等学校、二宮高等学校が指定されています。しかし、インクルーシブは、全ての学校でインクルーシブの取り組みをしていかなければならないと思います・幼稚園から大学まで日本の全ての学校がインクルーシブであるべきだと思います。

積極的に5組の生徒と交流をして欲しいと思います。